

第1回新製品コンペ 企業訪問シリーズ〈その1〉

ナショナル自転車工業株式会社

自転車新製品コンペティション入賞作品の商品化進む

本コラムは自転車新製品コンペにおいて受賞の栄に輝いた企業訪問シリーズとして紹介するものです。第1回目は、第1回コンペにおいて、大賞＝通商産業省機械情報産業局長賞をはじめ、応募テーマ3部門の全てに入賞したナショナル自転車工業(株)を訪問して、同社吉田専務取締役並びに斧商品開発部長代理に商品化の状況についてお伺いした。

▶商品化の現状◀

初めに同社が受賞した3作品のコンセプトと仕様概略を紹介いたします。

大賞

折りたたみ自転車

『ドラ・クルくん』

- 新しいレクリエーション・ジャンルの提案、「ドラクルくん」をトランクにゴルフバックのように積んで……、目的地で軽やかペダリングで自然を満喫!
- 新しいより行動的レクリエーションスタイルの提案、自転車の行動力とクリーンなイメージの電動自転車の組合せが楽しさと爽やかさを演出する。
- トランクなどに積みやすいコンパクトサイズ、シガーライターからの充電など6ホイールライフ仕様の設計。

作品の寸法	長さ：1200mm	960mm
	幅：400mm	500mm
	高さ：1000mm	640mm
	重量：23kg	
主要部品	車輪径：14型	
	フレーム：アルミダイキャスト フレームカバー：樹脂成型品	
販売予定価格 200,000円		
販売予定時期 平成10年10月		

入賞

高級なイメージの自転車

高級婦人車『10年コンセプトバイク』

- 軽量で操作性・安定性が良く、10年間安心して乗れる高級婦人車。
- メンテナンスフリーで錆びない、カーボンモノコックフレームだから一生もの。
- 乗る人に優しく、軽く、乗り易い、高級ブランド品のような優雅さ、気品のある造形で乗っていることで、楽しさやうれしさがある。

作品の寸法	長さ：1600mm
	幅：570mm
	高さ：1000mm
	重量：13.8kg
主要部品	車輪径：22型
	フレーム：カーボンモノコック バック：プレス
販売予定価格 79,800円	
販売予定時期 平成10年2月	

入賞

盗まれにくい自転車または装置

盗難防止車『金縛りロック』

- 盗難防止のポイントとして、盗む気を削ぐカタチにし、簡単に操作ができ、ワンタッチで施錠、壊されにくい頑丈である。
- サドルを上へ回転させることで、サドルと連動したセンタースタンドがロックされる錠である。
- 簡単な操作で、乗れない状態でロックする。

作品の寸法	各サイズとも対応できる。
主要部品	スタンド ロック部 錠（シリンダー丸キー）
販売予定価格 5,000円 (自転車の市場価格に上乘せ)	
販売時期 平成9年10月	

大賞の折りたたみ自転車「ドラ・クルくん」(写真1)の商品化については、既に自動伸縮機構と固定時の疲労強度確保等安全対策を終え、フレーム体(写真2)を完成している。当初の予定どおり、10年6月型式認定検査、ユーザー、販売店等の市場調査を経て10年10月発売の予定で順調に推移している。

次に、高級なイメージ自転車部門で受賞した「10年コンセプトバイク」(写真3)は、

“ファーストレディ”の名の下に商品化済みで、9年10月景品用として30台を出荷している。本品は、当初販売予定価格より若干高い価格設定になっているため、普及版を開発中で、近々商品化する予定とのことである。なお、この種の車は、どこでも売れるというものでないので、販売地域、販売店等を絞り、徐々に需要を広げていきたいとのことである。

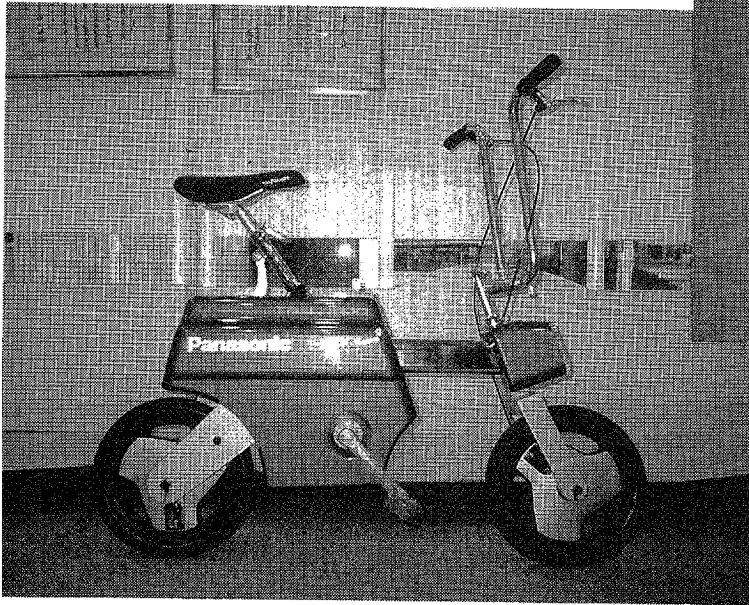


写真1 コンベ出品時のドラクル

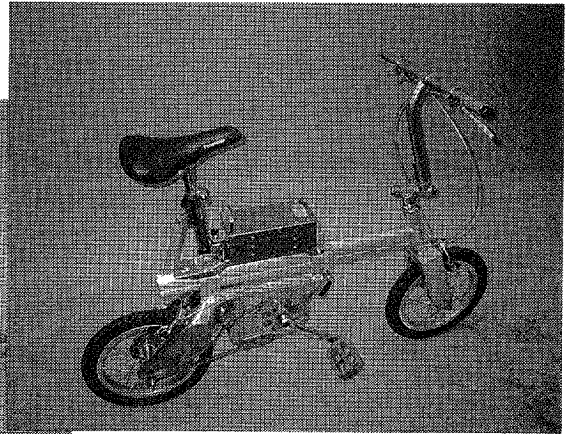


写真2 現状開発品ドラクルフレーム体

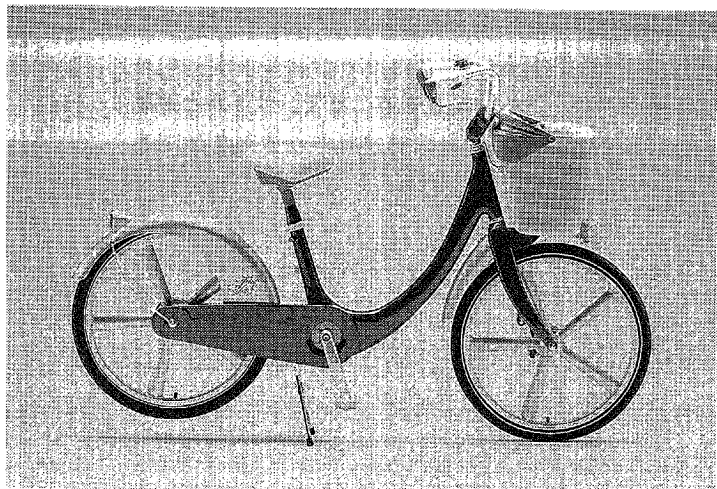


写真3 ファーストレディ

また、盗まれにくい自転車または装置部門で入賞の盗難防止装置「金縛りロック」は、「ガチャリンコ」(写真4)と命名、上市済みである。既にテレビ、新聞紙誌等マスコミ報道により注目を集め、日経産業消費者研究所の4半期毎に発表される新製品ランキングの9年最終4半期の2位にランキングされた。ランキングの評価項目は、使い勝手、価格メリット、ハイテク度、エコロジー度、メセナ度の5項目からなり、使い勝手◎(大変優秀)その他4項目で○(優れている)の秀逸な評価内容となっている。更に(社)日本PTA全国協議会並びに(財)全国防犯協会連合会の推薦を得ている。9年10月テスト販売として2,000台を出荷、9年12月、10年1月の2カ月間で約3台を出荷、1月末での販売は4万台を達成、3月末までに7万台の大体を越える見込みである。同社の通学車の春需の目玉商品となるばかりでなく、今後の主軸製品として大きく貢献していくものと予想される。通学車をはじめガチャリンコ搭載車種は、シリーズとして21機種がラインアップされており、駆動別にはチェーン、ベルトの2種、フレーム

形状別には、スタaggerタイプ、ニュークロスタイプ、イタリアンタイプの3種類となっている。

▶商品化への取り組みと市場調査◀

今回の商品開発にあたっては、流通主導を基軸として、立ち上がりから専門部署に止まらず全社あげてのコンカレント(同時的)体制を構築し、進めてきたとのことである。商品コンセプト、車種体系、価格体系などのミーティングには、全国の販社が参画し、消費者ニーズの反映を図る等商品化のプロセスの中で、その折々の関係部署の連携協力により商品化への取り組みが進められた。消費者、販売店、販社へのプレゼンテーション、消費者向けの展示・試乗会、アンケート等により実施された。ガチャリンコの場合は、通学需要をメインとした車種展開を考慮し、若者が多く集まる大阪アメリカ村、東京プチセブンのイベント会場で行ったアンケート結果が、ネーミング、ロゴマーク、フレーム形状、同カラー採用の大きな決定要素となった。また、ドラクルくん、ファーストレディは前記同手法のマーケティングを行うほか、商品特性から、ヨーロッパにおけるプレゼンテーションによる反応調査を行っている。



※写真の商品はガチャリンコ搭載状態です。

写真4 ガチャリンコ搭載車

▶商品化の技術、コストの問題◀

各商品化にあたって、今後の問題を含め概略次のような技術コスト面の問題があったとのことである。

【ドラクルくん】

- ・アルミ押出型多用による加工精度と加工工数の短縮
- ・アルミ材成形による構造設計
- ・自動伸縮機構と固定時の疲労強度の確保

【ファーストレディ】

- ・本体カーボンモノコックとヘッド、B.B.金具との安定接合設計
- ・金型費の増大（泥ヨケ、バックステー、フロント荷台金具等）

【ガチャリンコ】

- ・盗難いたずら防止金具部等の改善（40件余）
- ・修正金型費用の増大

▶終わりに◀

面談の終わりに、吉田専務より「今回の新製品コンペによって、当社では新しい開発創造の取り組みにはずみがついた。」と述べられた。当該コンペが、低迷している自転車工業の活性化に相当なインセンティブを与えたものとする。ガチャリンコの商品化は、今大きな社会問題となっている盗難、放置自転車の2悪を減少させるとともに他の2作品も併せユーザーの目を低価格車から価値を認められる製品に向けさせる環境作りに大きく貢献していくことが期待される。

（企画調査室）

